



玄関リフォームの販売が好調

株式会社LIXILは、トステムブランドの玄関リフォーム商品「リシエント」の販売数が2011年12月時点で前年度の150%のペースで増加、中でも断熱タイプの伸び率は昨年度の2倍に達したことを発表した。

2010年の住宅エコポイント制度の施行により、内窓をはじめとする窓の断熱リフォームがこれまで人気を集めてきたが、最近では工事の手軽さと優れた性能、デザインの様々が好評を得て、玄関のリフォームにも注目が集まっている。

外壁を壊さずリフォーム

「リシエント」は、古いドア枠を残したまま新しい枠や額縁を上からカバーして新しいドアを取り付けるリフォーム。そのため、外壁を壊すことなく施工することができる。これにより工事期間はわ

ずか一日で完了するため、期間中の戸締りに頭を悩ます必要がない。また、壁を壊す工事と比べ、安価にリフォームできることも大きな魅力となっている。

玄関の断熱・換気問題を解決

玄関や窓といった開口部は外気の影響を受けやすく冷暖房効率を下げる要因となっているが、断熱タイプの「リシエント」では本体内部に断熱材が充填されており、内部に断熱材が充填されており、外気が玄関内に伝わることを抑えることができる。これにより冬場は玄関内外の温度差が小さくなるので結露を抑制。一方、夏場は暑い外気の侵入を防ぐため一年を通して快適な玄関にすることができ

る。また、玄関は湿気や臭いの溜まりやすい場所でもあるため「リシエント」では、ドア本体を閉めたまま扉に内蔵された窓を上下

することで採風できるタイプを用意。部屋の窓と一緒に用いることで効果的な玄関の換気を可能としている。

復興支援・住宅エコポイント

玄関リフォームでは有効開口幅を750mm以上に拡張できる条件が揃う場合は復興支援・住宅エコポイントのバリアフリー改修と対象としてエコポイントを申請することができる。また、条件が揃わない場合でも、家全体の断熱性能を上げるため窓と合わせて玄関も一緒にリフォームすれば、窓のエコポイントを利用して即時交換するケースも人気を集めているという。消費者のエコ・省エネ・節電の意識が高まりを受け、窓や玄関のリフォーム商品の成長がますます期待される。